

各位

東北大学流体科学研究所長
丸田 薫
(公印省略)

流体科学研究所教員公募について (依頼)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究所では、下記の要領により教員を公募致すことになりました。

つきましては、貴学及び関係機関等に適任の方がおられましたらご推薦賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

1. 専門分野及び公募人員

所属研究部門	公募人員
ナノ流動研究部門	准教授 1名

2. 研究・業務内容

ナノスケール物質輸送現象の特性や発現メカニズムを解明すると共に、次世代エネルギーデバイス開発を志向したナノスケール現象制御のための研究・教育を推進する。

3. 応募資格

着任時に博士の学位を有し、上記専門分野で顕著な業績を有する者。(別紙参照)

4. 任用予定年月日 令和6年4月1日(月)
(東北大学教員の任期に関する規程第2条に従い、任期は10年、再任なしとする。)

5. 公募締切日 令和6年1月5日(金) 午前10時(日本標準時) 必着

6. 応募書類

(I) 履歴書（卓越研究員（申請中も含む）の場合はその旨記載すること。）

(II) 業績リスト※

- ① 学術論文（掲載誌の最新のインパクトファクターも記すこと。）
- ② 解説論文（同上）
- ③ フルペーパーで査読を受けたプロシーディングス論文
- ④ 著書
- ⑤ 国際会議および国内会議における招待講演（本人が講演したもののみ）
- ⑥ 国際会議での発表状況（⑤に該当するものを除く。発表者を明確にすること。）
- ⑦ 国際会議および国内会議における実績（組織委員・実行委員等）
- ⑧ 特許取得状況（出願あるいは登録の別も記すこと。）
- ⑨ 海外および国内の研究者との共同研究実績、海外における研究活動実績
- ⑩ 受賞
- ⑪ 競争的研究資金の獲得状況
- ⑫ その他特筆すべき業績

※ 作成に当たってはそれぞれ別葉とし、①～⑥については共著者名を、⑧については共同発明者を全て記入し、応募者にはアンダーラインを付すこと。また、①～⑧については応募者の分担した役割を明記すること。①～⑥についてはサイテーション数を適宜記すこと。その際、サイテーション数の出典を明記すること。①～⑫を一つのPDFファイルにまとめること。

(III) 上記①～④の主要な業績5件以内のリプリント（PDFファイル）

(IV) 主要な業績5件以内の概要（各500字程度）

(V) 当該研究分野に着任した場合の研究・教育に関する抱負（機械工学関連科目に関するこれまでの教育経験等を含めて具体的に記すこと。）

(VI) 応募者に関する照会先（3名程度）の氏名、勤務先、役職、住所、電話番号、E-mailアドレス

上記書類は、すべてA4版のPDFファイルで、(I)～(VI)のそれぞれを別ファイルとすること。全てのファイルをCD-RやSDメモリーカード、USBフラッシュメモリなど適当なメディアに収納し、簡易書留で郵送すること。封筒に「ナノ流動研究部門教員公募応募書類」と朱書きで記載すること。

郵送によらず、適当なファイル転送サービスと電子メールを用いた提出も可とする。電子メールの件名に「ナノ流動研究部門教員公募」と記載すること。受領の通知がない場合には連絡すること。

選考の過程で、追加資料の提出を求められることがある。応募書類は返却しない。面接が必要な場合には、オンラインによる面接も可とする。

7. 応募の問い合わせ先および応募書類の提出先

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1番1号
東北大学流体科学研究所
所長 丸田 薫
TEL 022-217-5300 FAX 022-217-5311
E-mail director@ifs.tohoku.ac.jp

なお、流体科学研究所の概要については、<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/> をご覧下さい。

参 考 事 項

ナノ流動研究部門は、熱流体に関連したナノ・マイクロスケールの現象や物性に関わる基礎科学の展開と新分野創成を目的とする。電子・分子スケールの物質・運動量・エネルギー輸送メカニズムの解明や生体およびデバイス内におけるナノスケール流れの特性の発見を通じ、学術の深化・発展ならびに革新的ナノ熱流体デバイスや医療技術の創成を推進する。また、東北大学大学院機械系、工学部機械知能・航空工学科の協力講座として、教員は機械工学関連科目の講義を担当している。本教員公募により、次のような研究の推進を計画している。

研 究 部 門 名	研 究 内 容
ナノ流動研究部門*	ナノスケール物質輸送現象の特性や発現メカニズムを解明すると共に、次世代エネルギーデバイス開発を志向したナノスケール現象制御のための研究。 1. 高分子材料・生体材料などのナノスケール構造における物質輸送特性の分子論的解析 2. 次世代エネルギーデバイスの性能を決定する物質輸送現象のナノスケール解析・制御

* 現在、非平衡分子気体流研究分野、分子熱流動研究分野、量子ナノ流動システム研究分野、生体ナノ反応流研究分野、分子複合系流動研究分野、ナノ流動応用研究分野の6分野から構成されている。任用時には新しい研究分野を発足させる予定である。

別紙 ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DEI) について

- 東北大学は多様性、公正性、包摂性 (Diversity, Equity & Inclusion : DEI) を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

- 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

- 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学-みんなが主役-多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEBページ
https://dei.tohoku.ac.jp/wp-content/uploads/2023/10/JP_GuideLine_rev2.pdf

- 東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園 (定員 22 名)、青葉山みどり保育園 (定員 116 名) の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園 (定員 120 名) があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

- その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ
<https://dei.tohoku.ac.jp/>
人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>